

訓練参加住民アンケート調査結果 (総合訓練：令和5年10月25日実施)

1 調査目的

避難に際しての住民意識に関することを調査し、避難等に関する施策の基礎資料を得る

2 調査対象

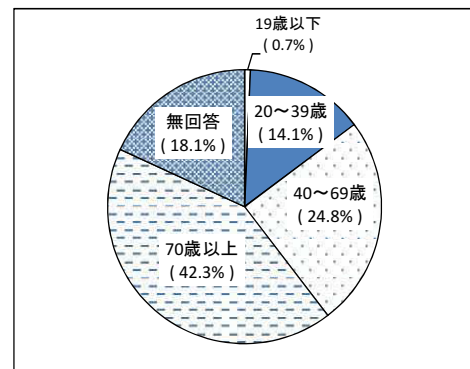
避難訓練参加者 (ただし、保育所・小学生・中学生を除く)

泊村	39名
共和町	21名
岩内町	18名
寿都町	8名
蘭越町	15名
二セコ町	27名
倶知安町	21名
計	149名

3 調査実施方法

アンケート用紙を配布

4 年代別回答状況

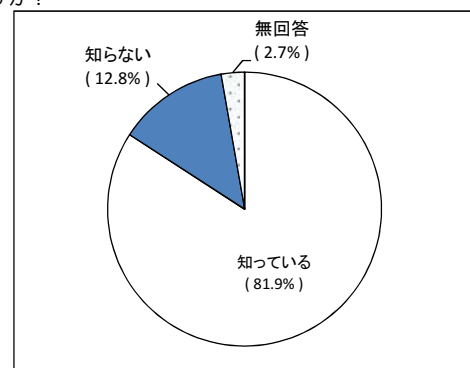


5 調査結果

<設問内容>

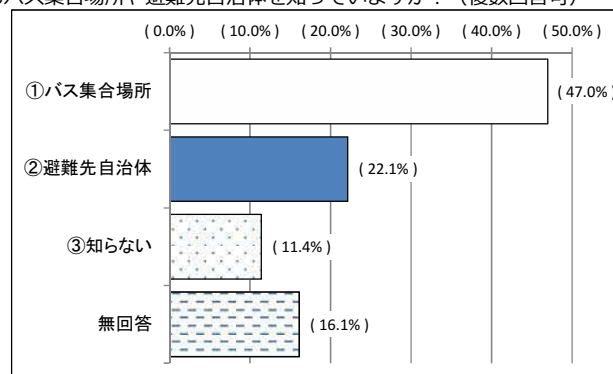
問1. あなたのお住まいの地域は、泊発電所から概ね5キロ圏内（PAZ）、泊発電所から概ね5キロから30キロ圏内（UPZ）のどの区分に該当するか知っていますか？

- ① 知っている
- ② 知らない



問2. あなたがお住まいの地域の原子力災害時におけるバス集合場所や避難先自治体を知っていますか？ (複数回答可)

- ① バス集合場所を知っている
- ② 避難先自治体を知っている
- ③ 知らない



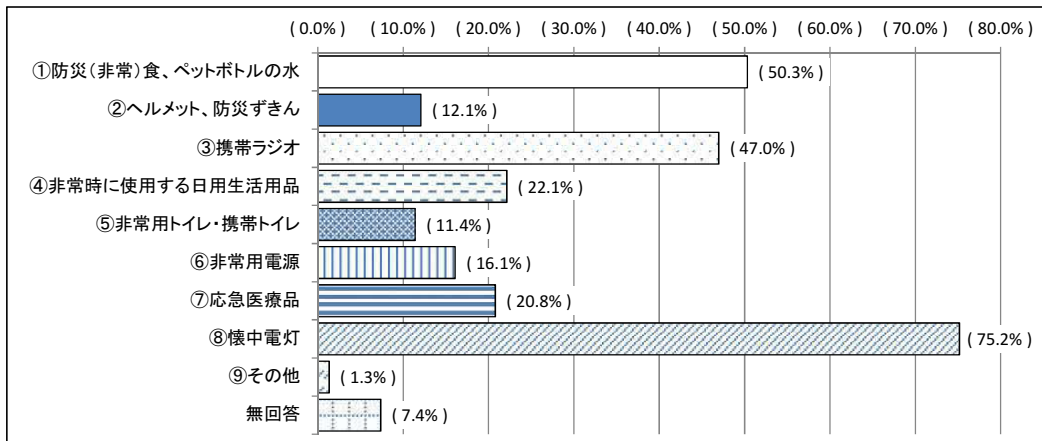
問3. 防災グッズをご家庭で備えていますか？

(1) 防災グッズ (複数回答可)

- ① 防災 (非常) 食、ペットボトルの水
- ② ヘルメット、防災ずきん
- ③ 携帯ラジオ
- ④ 非常時に使用する日常生活用品
- ⑤ 非常用トイレ・携帯トイレ
- ⑥ 非常用電源
- ⑦ 応急医療品
- ⑧ 懐中電灯
- ⑨ その他回答

◇その他回答

- ・下着、服類
- ・スマートフォン



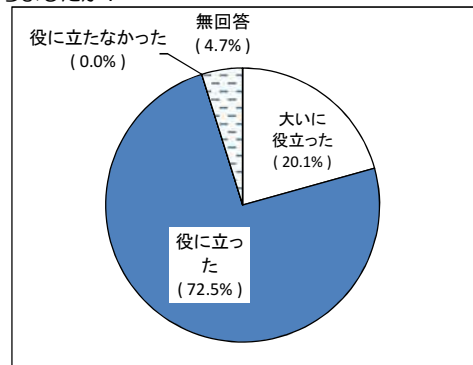
問4. 本年度の訓練に参加し、原子力防災意識の向上や理解促進に役立ちましたか？

- ① 大いに役立った
- ② 役に立った
- ③ 役に立たなかった

◇意見

- ・訓練に初めて参加し、実際の避難の流れを理解することができた。
- ・今までほぼ原子力防災意識がなかったため、訓練に参加することで、色々調べてみようと思うきっかけになった。
- ・災害時にどのような行動をとるべきなのかがわかった。
- ・避難先等の情報、移動時間の確認ができました。
- ・中々普段聞くことのない放射能について、理解を深めることができた。
- ・訓練参加前は緊急避難先や避難情報の受信方法などを知らなかったため。

など

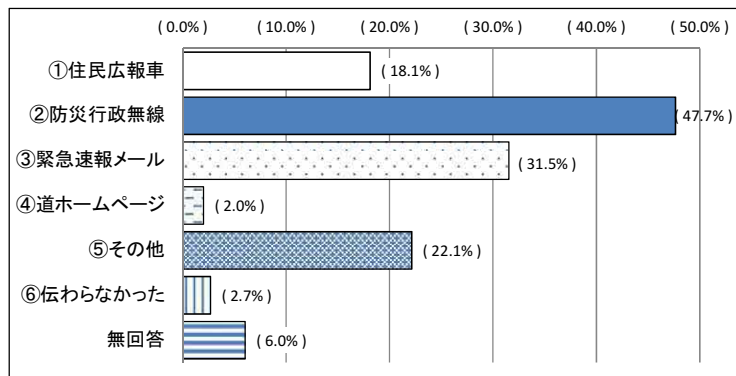


問5. 今回の訓練では、さまざまな広報手段により情報の発信を行いました。どのような広報手段であなたに情報が伝わりましたか？ (複数回答可)

- ① 住民広報車
- ② 防災行政無線
- ③ 緊急速報メール
- ④ 道ホームページ
- ⑤ その他回答
- ⑥ 伝わらなかった

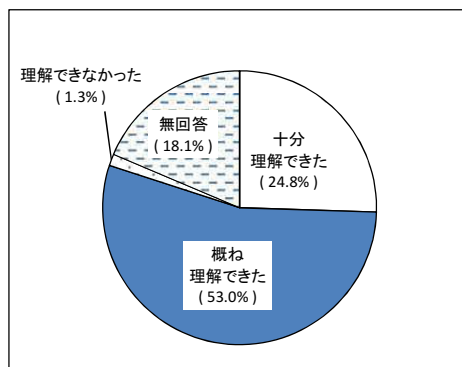
◇その他回答

- ・町内会からの連絡
- ・職場
- ・学校



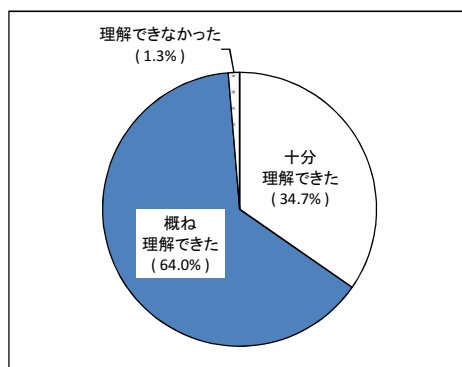
問6. 問5で「⑥」以外を選んだ方以外にお聞きします。
訓練広報の内容は理解できましたか？

- ① 十分理解できた
- ② 概ね理解できた
- ③ 理解できなかった



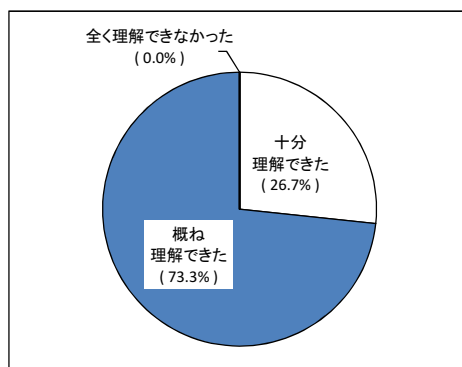
問7. 安定ヨウ素剤の配布を受けた方にお伺いします。
安定ヨウ素剤の配布を受けた際の説明は理解できましたか？

- ① 十分理解できた
- ② 概ね理解できた
- ③ 理解できなかった



問8. 避難退域時検査を受けた方にお伺いします。
避難退域時検査場所での検査の流れは理解できましたか？

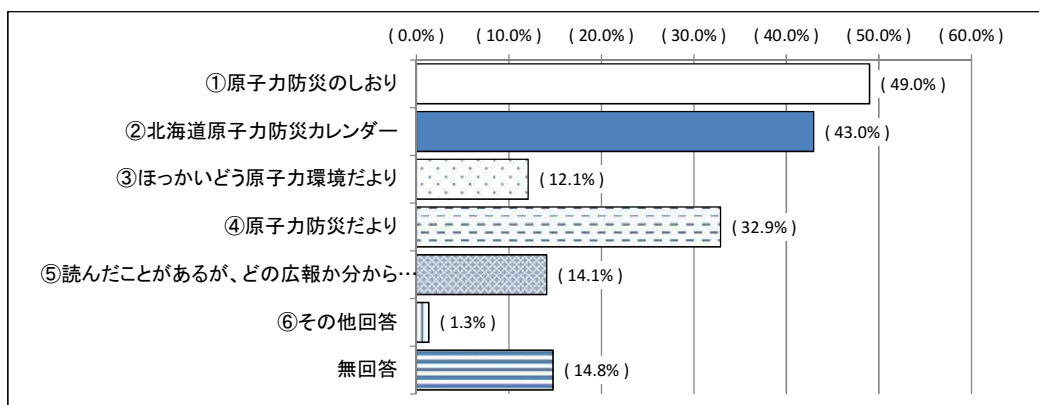
- ① 十分理解できた
- ② 概ね理解できた
- ③ 全く理解できなかった



問9. 北海道では啓発資料を配布し、原子力防災について広報を行っていますが、
あなたが目にしたことがある広報は何ですか？（複数回答可）

- ① 原子力防災のしおり
- ② 北海道原子力防災カレンダー
- ③ ほっかいどう原子力環境だより
- ④ 原子力防災だより
- ⑤ 読んだことがあるが、どの広報かわからない
- ⑥ その他回答

◇その他回答
なし



問10. よりよい広報にするため、どのような改善が必要だと思いますか？

- ・より積極的にSNS等を活用するなど。
- ・読みやすい工夫、各町村の実情に合わせた工夫。
- ・目の見えない人のため、点字の情報誌も必要と思う。
- ・人体にどれ程の放射線が当たると危険なのかを一般人にもわかりやすく教えてくれると良いのかなと思います。
- ・学校や子供を通しての連絡もあると気にするのでは。

など

【自由意見】 今回の訓練、避難など全般に関するご感想、ご意見やご要望があればお聞かせください。

- ・避難先で周知を図るためには、担当者がハンドマイク等を携帯して説明すると良い。説明が聞きづらかった。
- ・DXを活用し専用アプリを使った防災対応を検討してはどうでしょうか？
- ・ニセコ町では大ホールの舞台上で食料の配布など行うということであるが、高齢者が多く身体の不自由な人は階段があり不便だと思います。
- ・参加者の地域が偏っている気がするが、広い地域の方々が参加して、知ってもらえると良い。
- ・役場の方たちが親切丁寧に誘導してくださったので、安心して参加できました。
- ・訓練参加者が毎回同じ。平日のこの時間帯なら参加できる人が限られてしまう。

など

－令和5年度（2023年度）－

北海道原子力防災総合訓練

主催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村

目的

- 万一の場合に防災対策を円滑に実施できるよう、関係機関との連携や関係者の防災技術の向上を図る。
- 住民の皆さまの防災意識を高め、防災対策に関する理解促進を図る。

実施日時

令和5年10月25日（水） 8時30分～15時30分（予定）

訓練項目

「泊発電所での原子力災害の発生」と「台風による被害」を想定し訓練を実施します。

- 災害対策本部等設置運営訓練・・・道及び各町村に災害対策本部等を設置
- オフサイトセンター（OFC）運営訓練・・・関係機関からの要員による OFC の運営
- 住民避難等訓練・・・避難所等への住民避難や屋内退避
- 広報訓練・・・広報車等による広報
- 緊急時通信連絡訓練・・・関係機関等との通信連絡
- 緊急時環境放射線モニタリング訓練・・・環境放射線の測定、環境試料の分析
- 原子力災害医療活動訓練・・・避難退域時検査や簡易除染の実施 など



広報訓練
(広報車による広報)



住民避難等訓練
(バスによる避難)



原子力災害医療活動訓練
(避難退域時検査)

※掲載している写真は、過去に実施した訓練風景です。

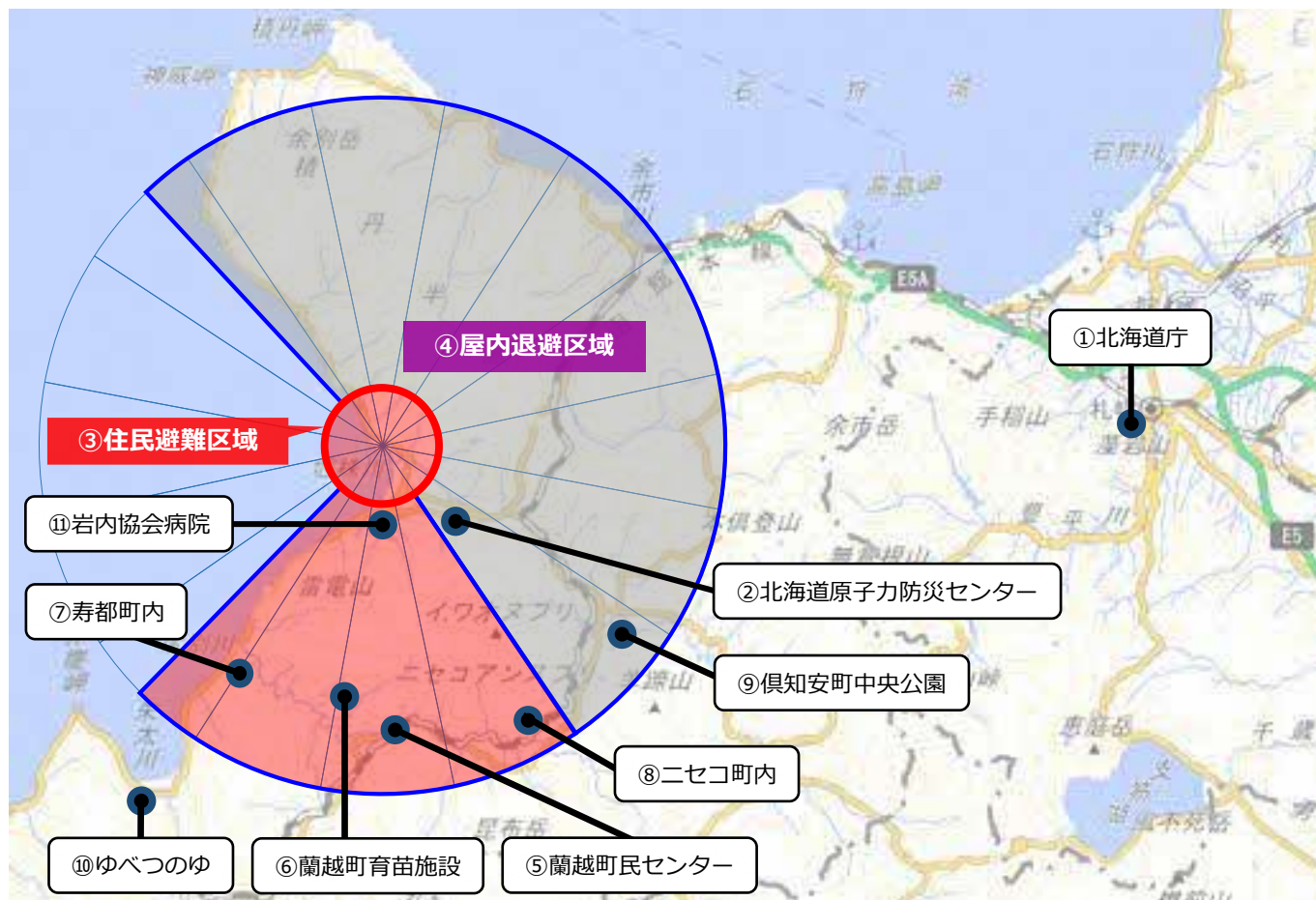
お願い

訓練当日である10月25日（水）は、**防災行政無線や広報車などを使って広報訓練**を行うほか、**各町村から、お持ちの携帯電話に緊急速報メールが配信**される場合があります。また、大型バス、自衛隊車両などが多数訓練走行いたしますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご協力をよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ先】

北海道総務部危機対策局原子力安全対策課 (011-204-5011) 後志総合振興局地域創生部危機対策室 (0136-23-1310)

主な訓練実施場所



・道災害対策本部等設置運営訓練	①北海道庁（札幌市中央区北3条西6丁目）
・OFC運営訓練/緊急時環境放射線モニタリング訓練	②北海道原子力防災センター（共和町南幌似141-1）
・住民避難訓練	③泊村、共和町、岩内町、寿都町、蘭越町、二セコ町
・屋内退避訓練	④神恵内村、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村 （訓練内容は各町村にお問い合わせください。）
・外国人住民等避難誘導訓練	⑤蘭越町民センター（蘭越町蘭越町43-1）
・孤立地域等避難訓練	⑥蘭越町育苗施設（蘭越町字吉国1037-1）【実動組織車両による避難】 ⑦寿都町内【実動組織ヘリコプターによる救助】 ⑧二セコ町内【実動組織ヘリコプターによる救助】
・避難退域時検査等訓練	⑨倶知安町中央公園（倶知安町南3条東4丁目） ⑩ゆべつのゆ（寿都町字湯別町下湯別462-1）
・被ばく傷病者搬送訓練	⑪岩内協会病院（岩内町字高台209-2）

※ 訓練内容等は、変更になる場合があります。

【お問い合わせ先】

北海道	総務部危機対策局原子力安全対策課	(011-204-5011)
	後志総合振興局地域創生部危機対策室	(0136-23-1310)
泊村	企画振興課	(0135-75-2877)
岩内町	危機管理課	(0135-62-1011)
寿都町	総務財政課	(0136-62-2511)
二セコ町	総務課	(0136-44-2121)
積丹町	総務課	(0135-44-2112)
仁木町	企画課	(0135-32-3953)
赤井川村	総務課	(0135-34-6211)
共和町	企画振興課	(0135-67-8796)
神恵内村	総務課	(0135-76-5011)
蘭越町	総務課	(0136-55-7534)
倶知安町	総務課	(0136-56-8000)
古平町	企画課	(0135-48-9836)
余市町	総務課	(0135-21-2142)